



## 今月の記事

施設の防災

ワークキャンプ

手芸サークル

認知症介護研修

今月の愛の園



園長  
武藤直二

## 施設の防災対策を考える

台風12号は和歌山県南部にも深い爪痕を残しました。被災されたすべての方々へ心よりお見舞いを申し上げます。

愛の園には幸い直接的な被害はなく、平常どおり事業が継続されていますが、9月4日には富田川に土石流の危険があるとのことから町内に避難勧告が発令され、一時的に在宅サービスの利用者、地域の高齢者、職員家族ら30名程の避難を受入れました。

自力避難が困難な高齢者施設では、施設設備や備品等が安全対策の基本となります。愛の園の立地は洪水、津波の危険はなく地盤も強固ですが、裏山の崩落が起こります。施設は耐震基準に沿った建築で安全性が保たれていますが、備品・工作物の落下・倒壊、ガラスの飛散も想定されます。

次に飲料水や非常用食料等の備蓄が重要になります。ライフラインの途絶に備えて、少なくとも3日間は自力で入居者、利用者、職

員の生活を維持できるよう、飲料水、生活用水、食料、医薬品、日用品、燃料、電源・電池などの備蓄が求められます。日中は90人の入居者、20人のショートステイ利用者、同じく20人のデイサービス利用者がおられ、勤務の職員は70人ほどになります。介護を続けるために被災した職員家族も愛の園に避難してもらおうと更に200人、地域から避難される方々を100人とすれば合計で500人分の備蓄が必要となります。飲料水だけでも4,500リットルという計算です。

今回の台風の際に、一時的でまた極めて小規模ではありましたが、初動活動、職員の参集、ご家族・職員・関係機関への連絡、地域・行政との連携、炊き出し、緊急搬送、避難所運営などを経験しました。備えるべき課題は数多く、全てを一度に完備することはできませんが、着実な設備、体制、訓練による防災力強化への思いを新たにしました。



今年も K さんが丹精込めて育てたひまわりが、8月末に満開を迎えました

## ワークキャンプの体験

福祉専門職の姿勢を学ぶことを目的に、愛の園で研修をさせて頂くようになり今年で5回目を迎えます。毎年、施設長や職員の方々、そして入居者の方々から暖かいお言葉を頂くのですが、受け入れに関して多大な迷惑をかけているのだらうと思っています。1年生を対象とした研修のため、技術はもちろんのこと、心構えひとつにしてもまだまだです。毎年笑顔で受け入れてくださる姿勢に感謝するばかりです。

そのような皆さまの励ましに包まれる研修の中、学生の初日の顔つきと3日目の顔つきは歴然とした違いがあります。一生懸命関わる体験を通してしかわからない事を日々実感したようです。

「ある入居者の方はご家族の話を何度もして下さった。認知症の方はご家族のことを忘れてしまうこともあると聞いていたので、自慢できる誇らしいご家族のことが伝わり、とても嬉しかった。しかし、言葉でのやりとりが難しい方の前では全然話せなくて、私は

## 関西国際大学講師 <sup>きのしたたかし</sup> 木下隆志さん

すぐにあきらめてしまった。地域やホームでの暮らしのことなど、様々な知識や話題を身につけ、経験を積んでいきたい。」(福祉学専攻1年 日下部亜美さん)

体験を通して、講義で学ぶ支援方法を体験で活かすことの大切さに気づいてくれた一瞬です。このような機会を提供して頂き本当に感謝しています。入居者の方々の笑顔を忘れず、大学での学びを深めていきたいと思えます。

皆様の今後のご健康とご無事を祈っております。ありがとうございました。



楽しい交わりのひと時



利用者のお話しに真剣に耳を傾けました



## 支えてくださる人々 手芸サークル

ユニットリーダー  
嵯峨和代



一針一針に思いをこめて



作り続けた作品の数々

移転前、ユニットケアに向けて4つのグループを編成しグループケアを始めた頃に、自分でできることの多い方々の余暇の楽しみにと始めたキルトのチューリップ作りがきっかけでした。参加した皆さんは「昔取った杵柄」で見事な手捌きでした。特に印象深いのは、離床が苦手だったAさんが、娘さんと曾孫さんに作品のチューリップをプレゼントされたことです。あの時の感動は今も忘れる事ができません。

その後も日曜日の午後4～5人が集まり行っていますが、職員だけの指導が大変になり知人でパッチワークの先生である笠松登美子さん、堀恵子さん、和田加代子さんをお願いしたところ快く引き受けてくださり、その後、南好恵さんも指導に加わってくださり現在に至っています。サークルは、毎月1回、第3水曜日の午後2時から1時間30分程度、1階1ユニットで開かれています。

当初は、1日で出来る簡単な作品を作っていました。時間をかけての作品もよいのではと思いパッチワーク作りを始めました。参加される方々に希望を伺って様々な作品に取り組みました。ポーチ、巾着、クッション、タペストリー、手提げ袋、置物などの作品は上富田町文化展やシルバー作品展に出品させて頂き、見学に行く事も楽しみの1つです。

一人ひとりを見守り、寄り添う中でどんどん進むパッチワーク作りは、糸通しも忙しいですが、お互いの絆も深まり、会話も弾み、針を動かして作品が出来上がることに喜びを感じながら頑張っています。

現在9名の入居者の方々が参加されており、回数を増やして欲しいとの嬉しい声も聞かれます。まだまだ興味のある方やボランティアとして参加して下さる方を募っています。ぜひ見学にお越しください。

### 研修に参加しました

## 認知症介護実践者研修

ケアワーカー

高橋光耶

東日本大震災義援金募金  
8/31までの累計 237,514 円  
ご協力に感謝いたします

今回初めて外部研修に参加しました。期間が3ヶ月あり、内容も課題も豊富でとても充実した研修でした。講義を受けるだけでなく、個人ワークやグループワークなども行いました。また、自施設での実習もあり、同じユニットの職員に協力してもらい、「もっとこうしたらどうか」など助言を受けたりして無事に修了することができました。

講義では介護職をしておられた講師が多く、聞いていてとても為になる内容が多くありました。大学教授から心理学を学び、医師から脳の機能について医学的に学びました。

グループワークでは、紀南地方の様々な施設の方と交流することができ、愛の園との違

い、施設の造りや職員の勤務時間等も情報交換することができました。

今回の研修で認知症高齢者の介護のために一番大切だと感じたことは「環境」でした。入居者一人ひとりが自分にとって好ましい環境で生活することができれば、安心して穏やかな毎日を過ごすことができるのだと思います。その為には私たち職員が一人ひとりに丁寧に関わる中で、願いに気づき、環境を整えることが重要だと感じました。



「キリストの愛を以って  
互いに仕える」

社会福祉法人神愛会  
特別養護老人ホーム愛の園

〒649-2103  
和歌山県西牟婁郡上富田町  
生馬 316-56

TEL (0739)47-1234

FAX (0739)47-4329

ainosono@shinai.or.jp

ホームページもご覧ください。  
Web サイト アドレス:  
<http://shinai.or.jp>

## 9～10月の愛の園

- 11(日) 日曜礼拝・おめかしクラブ  
敬老の日「一日我が家」
- 16(木) やまびこ会  
岩田幼稚園児敬老訪問
- 18(日) 日曜礼拝
- 20(火) ひまわり会  
まりもと愉快な仲間達
- 21(水) 手芸サークル
- 22(木) やまびこ会
- 25(日) 日曜礼拝・ヨネクラ玩具
- 29(木) やまびこ会
- 30(金) 愛の園創立記念日
- ※9月のマリア会はお休みです
- 2(日) 日曜礼拝

## 編集者から

台風12号は神愛会全体には大きな影響を与えました。岩田にある旧愛の園、深和ホーム、神愛修女会の東側斜面が崩落し、上部にある大型の排水処理設備を含み、更なる崩落の危険が続いています。直下の町道は全面通行止めとなり復旧の見通しが立っていません。

深和ホーム、修女会は4～6日一杯まで断水が続き、町より給水車ででの支援をいただきました。崩落斜面にある電柱の倒壊に備えて電力引込線の繋ぎ変えも必要になりました。

住宅に土砂が流入した職員、自宅が孤立して帰宅できなかったり通勤できない職員もありますが、皆それぞれに精一杯励んでいます。

様々な防災を考える1年となりました。(A)